

平成27年度 千葉市少年サッカー大会 3年生以下の部

準決勝 第1試合

日時 2015年 9月 22日(祝火)
試合会場 青葉の森陸上競技場
気象状況 天候: 晴れ ピッチ状況 天然芝
キックオフ 10時00分

対戦チーム

Wings U-12

イーグルス

試合結果

	<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">3</td></tr></table>	3	前 半 後 半 (PK)	<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">1</td></tr><tr><td style="text-align: center;">2</td></tr><tr><td style="text-align: center;">-</td></tr></table>	1	2	-	<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">1</td></tr><tr><td style="text-align: center;">0</td></tr><tr><td style="text-align: center;">-</td></tr></table>	1	0	-	<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;">1</td></tr></table>	1
3													
1													
2													
-													
1													
0													
-													
1													

戦評

すがすがしい秋晴れのもと、準決勝第1試合は、Wings U-12(以下、Wings)とイーグルスの戦いとなった。

立ち上がり、最初のシュートを放ったのはイーグルス。前半1分、7番大川君のシュートは枠を捉えなかったが、これがチームに活気を与える。直後の2分、7番大川君がセンターラインを少しWings陣地に入った左サイドから中央の5番瑞泉君に正確なパスを送ると、これを中央やや右からシュート、理想的な試合序盤での先制点となった。

対するWingsは、早い時間帯での失点でスイッチが入ったのか、6番大塚君と9番千葉君を中心に攻撃を組み立て、前半3分、6分と立て続けにシュートを放つ。7分には9番千葉君からのスルーパスに6番大塚君が反応しシュートを放つもこれはイーグルスGK森口君が好セーブしてゴールを許さない。その後も終始、Wingsが試合の主導権を握り、合計6本のシュートを放つも、ゴールネットを揺らすことはできない。

このままイーグルスのリードで前半が終了するかと思われた15分、Wings40番杉岡君が右サイドから左サイドの6番大塚君に展開すると、これを大塚君が思い切りよくシュート、ゴールネットに突き刺さり、同点ゴールとなった。

前半を同点で折り返した後半、前半の勢いそのままにWings優勢でゲームは始まった。後半2分、左サイド深い所からWings6番大塚君がクロスを上げると、これを中央で待っていた9番千葉君が冷静にゴールへ流し込み、逆転。

後半8分には、ゴール前で相手のキックミスを持ったWings6番大塚君がそのままシュートして追加点を決める。

2点差とされたイーグルスだが、試合を諦めず果敢にゴールを狙う。直後にはGK森口君からのボールを3番平君が俊足を活かして抜け出し、シュートを放つがこれはWings GK吉原君がキャッチ。

その後も俊足の3番平君にボールを集め、徐々に流れはイーグルスに傾き始める。12分には7番大川君が左サイドからドリブル突破し、シュートを放つがこれは右にそれた。続く13分には10番根岸君からのクロスも7番大川君がシュートもWings GK吉原君がゴールを阻む。後半14分、Wingsはペナルティエリア左サイド付近からのFKで6番大塚君が直接ゴールを狙ったが、イーグルスGK森口君が好セーブして追加点を許さない。だがイーグルスの必死の攻撃もゴールは奪えず、このまま終了のホイッスルが鳴った。

序盤の失点にも動揺せず着実に追いつき、逆転、追加点を挙げたWingsと、逆転されても勝利への気持ちを強く持ち続けたイーグルス。どちらが勝利してもおかしくない、とてもハイレベルな試合だったが、Wingsが決勝へ駒を進める結果となった。

平成27年度 千葉市少年サッカー大会 3年生以下の部

準決勝 第2試合

日時 2015年 9月 22日(祝火)
試合会場 青葉の森陸上競技場
気象状況 天候: 晴れ ピッチ状況 天然芝
キックオフ 10時30分

対戦チーム

ジョーカーレフットボールクラブ

PBJ千葉

試合結果

2	1	前 半	1	
	1		後 半	0
	-		(PK)	-
			1	

戦 評

秋晴れの青葉の森陸上競技場。

3年生大会準決勝第2試合は、ジョーカーレフットボールクラブ(以下ジョーカーレ)とPBJ千葉(以下PBJ)の顔合わせとなった。開始1分、PBJ18番柵木くんのドリブルからのシュート、2分のゴール前で得たFKはジョーカーレ14番式田くんの体を呈したディフェンスなどでゴールには至らなかったものの、PBJが立ち上がりの主導権を握った。

一方ジョーカーレも7分に最初のシュート。そして9分、右サイドへの展開から中央へ折り返されたボールを10番仲くんがシュートまで持ち込むと、一旦は弾き返されるも20番清水くんがしっかりと詰め見事に先制した。12分にも20番清水くんからのアーリークロスでチャンスを作ったが、ここはPBJのゴールキーパー12番齋藤くんの好判断で追加点とはならず。

すると直後の13分、PBJは4番丸山くんがキーパーの頭上を抜く絶妙のループシュートで同点とし、1対1で前半を終了した。

PBJのキックオフで始まった後半序盤は、互いの攻防がゴール前でも多く繰り広げられた前半とは一転、両チーム中盤での奪い合いで経過して行く。

ようやく9分、10分と立て続けにPBJがフィニッシュまで持ち込むも、惜しくもゴールとはならず。更にPBJは14分には中央で起点をつくり、サイドのオープンスペースに2列目から飛び出した9番秋葉くんが絶妙のタイミングでボールが渡りキーパーと1対1に。ここはジョーカーレ29番渡辺くんの好プレーで得点ならず。

いよいよPK戦かと思われた終了間際、ジョーカーレ10番仲くんが中央をドリブルで割っていくとゴール前で倒されペナルティーキックを獲得。重圧がかかったであろうキックを13番若松くんが冷静に決めジョーカーレがタイムアップ直前に勝ち越した。

互いに最後までチャンスを作り、ピンチを凌いだ好ゲームは、ジョーカーレが勝利し決勝戦へと駒を進めた。

平成27年度 千葉市少年サッカー大会 3年生以下の部

決勝

日時 2015年 9月 22日(祝火)
試合会場 青葉の森陸上競技場
気象状況 天候; 晴れ ピッチ状況 天然芝
キックオフ 13時30分

対戦チーム

Wings U-12

ジョーカーレフトボールクラブ

試合結果

3	1	前 半	0	1
	2		1	
	-		-	
		(PK)		

戦 評

長期にわたる大会の最終決戦は、Wings U-12(以下、Wings)とジョーカーレフトボールクラブ(以下、ジョーカーレ)の2チームの戦いとなった。汗ばむ晴天の下、頂点を定める試合はWingsのキックオフで始まった。

それぞれやや緊張気味のスタートとなったが、初めにペースを握ったのはWings。開始2分のフリーキックを6番大塚くんがダイレクトにゴールを狙うが惜しくもバーに嫌われる。その後の4分、9番千葉くんがシュートを放つもジョーカーレ29番GK屋代くんが正面でキャッチするなど、Wingsの積極的な攻撃が目立つ。一方のジョーカーレも左サイドの13番若松くんが何度も突破を試みるが、なかなかサイドを崩せない。そのような中でゲームが動いたのは6分。Wings6番大塚くんからゴール前でパスを受けた14番柳くんがジョーカーレDFをドリブルで交わしてGKと1対1になり、落ち着いてシュートを決め、貴重な先制点を挙げる。これで勢いに乗ったWingsは、ジョーカーレの攻撃の芽を摘んではシンプルに相手ゴールを目指すと言う攻撃を繰り返し、主導権を握ったまま前半を終了した。

後半は、逆転を狙うジョーカーレのキックオフ。ジョーカーレは後半開始早々から早いプレッシャーをかけ、両チーム一進一退の緊張感あるスタートになる。開始1分にはジョーカーレが得たフリーキックを14番式田くんが直接ゴールを狙い、3分にはWings9番千葉くんが混戦の中でボールをキープしながらシュートを放つなど、それぞれGKに阻まれ得点にはならなかったが息を呑むゲーム展開となる。そのような中でもじわじわとジョーカーレがペースを握り始め、前線にも人数がかかってくる。Wingsは、2番石井くんのDF陣を中心に我慢の時間が続くが、ジョーカーレもなかなかフィニッシュまで持ち込むことできない。その攻防を破ったのは、またもやWings。12分、6番大塚くんが相手ゴール前でドリブルで左へ流れながらジョーカーレDFを引き付けた一瞬に、空いたゴール前にパスを流し、入ってきた40番杉岡くんが落ち着いてゴールを決め、その差を2点に拡げる。ゲームが決まったようにも思えたこの直後の13分、ゴールから30メートル近くはあろうかと言うところでジョーカーレがフリーキックを得る。キッカーは14番式田くん。キックはボールの芯を捉え、ぐんぐんと伸びる弾道でゴールネットを直接揺らす見事なロングシュートで1点を返す。わずかな残り時間でなんとかあと1点を追いつきたいジョーカーレだったが、15分にはWings14番柳くんがドリブルで4人をかわして中央を突破してシュートを決める。Wingsが再びその差を2点としたところで試合終了のホイッスルが鳴り、Wingsが平成27年度大会の優勝を見事に勝ち取った。

Wingsのメンバーは、足元の技術が高いことは言うまでも無いが、ボールを持てば仕掛けるというチャレンジを怖がらず、また、そのチャレンジは「前に」と言う目的のためという意識が非常に高かった。ジョーカーレのメンバーも敗れたとは言え、チームでどのようにゲームを進めるのか、と言う意識を持ちながら、個々が判断をしようとするプレイスタイルが随所に見られた。

このゲームで千葉市の大会は一段落となったが、両チームとも、千葉県大会へ第7ブロック代表として進出します。この大会での経験や反省を活かして、是非さらに上のレベルを目指して成長されることを楽しみにしています。